

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年7月5日(2007.7.5)

【公表番号】特表2007-500233(P2007-500233A)

【公表日】平成19年1月11日(2007.1.11)

【年通号数】公開・登録公報2007-001

【出願番号】特願2006-533430(P2006-533430)

【国際特許分類】

C 07 C 233/43	(2006.01)
C 07 C 231/24	(2006.01)
A 61 K 31/136	(2006.01)
A 61 K 9/72	(2006.01)
A 61 K 45/00	(2006.01)
A 61 P 43/00	(2006.01)
A 61 K 31/573	(2006.01)
A 61 K 31/5685	(2006.01)
A 61 P 11/00	(2006.01)
A 61 P 11/06	(2006.01)

【F I】

C 07 C 233/43	C S P
---------------	-------

C 07 C 231/24	
---------------	--

A 61 K 31/136	
---------------	--

A 61 K 9/72	
-------------	--

A 61 K 45/00	
--------------	--

A 61 P 43/00	1 2 1
--------------	-------

A 61 K 31/573	
---------------	--

A 61 P 43/00	1 1 1
--------------	-------

A 61 K 31/5685	
----------------	--

A 61 P 11/00	
--------------	--

A 61 P 11/06	
--------------	--

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月16日(2007.5.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

結晶性N-[2-[4-((R)-2-ヒドロキシ-2-フェニルエチルアミノ)フェニル]エチル]-((R)-2-ヒドロキシ-2-(3-ホルムアミド-4-ヒドロキシフェニル)エチルアミン-塩酸塩。

【請求項2】

6.00±0.2、7.99±0.2、9.98±0.2、15.98±0.2、24.05±0.2、24.53±0.2、25.35±0.2、26.08±0.2、26.77±0.2、28.13±0.2、34.31±0.2および38.49±0.2からなる群より選択される2の値において、2つ以上の回折ピークを有するX線粉末回折パターンにより特徴付けられる、請求項1に記載の化合物。

【請求項3】

15.98 ± 0.2 、 24.05 ± 0 、 26.08 ± 0.2 および 28.13 ± 0.2 からなる群より選択される2の値において、2つ以上の回折ピークを有するX線粉末回折パターンにより特徴付けられる、請求項1に記載の化合物。

【請求項4】

ピーク位置が、図1に示されるパターンのピーク位置と実質的に一致するX線粉末回折パターンにより特徴付けられる、請求項1に記載の化合物。

【請求項5】

約 699cm^{-1} 、約 788cm^{-1} 、約 810cm^{-1} 、約 827cm^{-1} 、約 875cm^{-1} 、約 970cm^{-1} 、約 1026cm^{-1} 、約 1056cm^{-1} 、約 1080cm^{-1} 、約 1101cm^{-1} 、約 1213cm^{-1} 、約 1296cm^{-1} 、約 1374cm^{-1} 、約 1441cm^{-1} 、約 1546cm^{-1} 、約 1596cm^{-1} 、約 1660cm^{-1} 、約 3371cm^{-1} および約 3553cm^{-1} において有意な吸収帯を有する赤外吸収スペクトルを有する、請求項1に記載の化合物。

【請求項6】

約200で吸熱熱流の開始を示す差次の走査測熱トレースにより特徴付けられる、請求項1に記載の化合物。

【請求項7】

約95と115との間の吸熱特徴、および約200での吸熱熱流の開始を示す、差次の走査測熱トレースにより特徴付けられる、請求項1に記載の化合物。

【請求項8】

図2に示されるトレースと実質的に一致する差次の走査測熱トレースにより特徴付けられる、請求項1に記載の化合物。

【請求項9】

請求項1～8のいずれか1項に記載の化合物の治療有効量、および薬学的に受容可能なキヤリアを含む、薬学的組成物。

【請求項10】

前記組成物が、1種以上の他の治療剤の治療有効量をさらに含み、ここで該他の治療剤はコルチコステロイド、抗コリン作用薬またはPDE4インヒビターである、請求項9に記載の薬学的組成物。

【請求項11】

前記組成物が、吸入による投与のために処方される、請求項9に記載の薬学的組成物。

【請求項12】

請求項1～8のいずれか1項に記載の化合物を含む組成物であって、該組成物は、6，9-ジフルオロ-17-[(2-フラニルカルボニル)オキシ]-11-ヒドロキシ-16-メチル-3-オキソ-アンドロスター-1,4-ジエン-17-カルボチオ酸S-フルオロメチルエスチルと組合せて投与されることを意図される、組成物。

【請求項13】

請求項1に記載の化合物を調製するためのプロセスであって、該プロセスは、以下：

(a) N-{2-[4-((R)-2-ヒドロキシ-2-フェニルエチルアミノ)フェニル]エチル}- (R)-2-ヒドロキシ-2-(3-ホルムアミド-4-ヒドロキシフェニル)エチルアミンを、極性溶媒中に溶解させ、第1の溶液を形成する工程；および

(b) 約0.9モル当量と約1モル当量との間の塩酸を添加して第2の溶液を形成する工程であって、該溶液から、請求項1に記載の化合物が形成される、工程、を包含する、プロセス。

【請求項14】

請求項1に記載の化合物を調製するためのプロセスであって、該プロセスは、以下：

(a) N-{2-[4-((R)-2-ヒドロキシ-2-フェニルエチルアミノ)フェニル]エチル}- (R)-2-ヒドロキシ-2-(3-ホルムアミド-4-ヒドロキシフェニル)エチルアミンを、極性溶媒中に溶解させ、第1の溶液を形成する工程；および

(b) 約 5 と約 6 の間の pH で、モル過剰の無機塩化合物の水溶液を添加して第 2 の溶液を形成する工程であって、該溶液から、請求項 1 に記載の化合物が形成される、工程、
を包含する、プロセス。

【請求項 15】

喘息または慢性閉塞性肺疾患を処置するための組成物であって、該組成物は、請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の化合物を含む、組成物。